

第1日 2025年11月29日(土)

8:30～ 受付 N棟1階ピロティ

S会場 S棟235教室(ダイダンホール)

9:00～9:45 開会行事・総会・表彰

会長挨拶(鈴木則子)

10:00～11:00 市民公開講座1

司会：藤本大士

「ジェンダー史から問う医療の歴史～幕末期江戸の中條流「女医者」再考」

・・・・・・・・・・鈴木則子(奈良女子大学特任教授)

11:00～12:00 市民公開講座2

司会：藤本大士

「日本の出産、アジアの出産―歴史と文化の視点から」 松岡悦子(奈良女子大学名誉教授)

13:00～15:00 シンポジウム1 「近世・近代の出産と医療」

司会：松岡悦子

「日本近世の出産とジェンダー」・・・・・・・・・・横田冬彦(京都大学名誉教授)

「近代日本における出産の医療化と産婆」・・・・・・・・大出春江(大妻女子大学名誉教授)

N第1会場 N棟202教室

10:00～11:00 一般演題 1～4

座長：島山奈緒子

- 1 天平9年の疫病は果たして天然痘だったのか?・・・・・・・・・・加藤茂孝
- 2 家康より二代道三玄朔に下賜されたと思しき蘭奢待について・・・・・・・・今井 秀
- 3 『児島宗説・雲琳来簡集』初探・・・・・・・・・・池内早紀子・山本優紀子
- 4 荻生徂徠の兵学思想にみる医学への影響・・・・・・・・・・西巻明彦

11:00～12:15 一般演題 5～9

座長：長野 仁

- 5 『松平昭休往復書翰留』に見る川越藩主松平直侯の脚気治療と「牛通丸」・・・長田直子
- 6 村井椿寿(号;琴山)『医道二千年眼目編』出版の意図・・・・・・・・・・松崎範子
- 7 岡山奨進医会と富士川游・・・・・・・・・・町 理子
- 8 昭和漢方復興におけるアジア主義人脈とその広がり・・・・・・・・・・平崎真右
- 9 音楽家医学研究の始まりと学問としての確立、そして日本への導入・・・赤池美紀・坂井建雄

15:15～16:15 一般演題 28～31

座長：宝月理恵

- 28 中世近世移行期の産後に関する記録・・・・・・・・・・アンドリュウ・ゴープル
- 29 賀川流産科学の革新性 一実証主義と独創性の検討一・・・・・・・・・・竹内 薫
- 30 植民地朝鮮における日本人産婦人科医の活動―工藤武城を題材に・・・・・・・・大室恵美

- 31 妊産婦手帳と体力手帳から母子手帳へ：戦時中と戦後の母子保健の連続性・・・中村安秀

16:15～17:00 一般演題 32～34 座長：目黒 茜

- 32 1890年代の米英二紙が報告した日本人女性の自立自助的医療：
盲人按摩・家庭内灸療・出産・・・・・・・・・・・・・・・・・・稲田健一
- 33 イギリス・ヴィクトリア朝文学における看護・・・・・・・・・・遠藤花子
- 34 村上純祥『看病人』（明治26年）にみる看病人の心得・・・・・・・・平尾真智子

N第2会場 N棟301教室

10:00～11:00 一般演題 10～13 座長：中川俊之

- 10 『茶経』に記された茶の長寿効果について・・・・・・・・・・梅木春幸
- 11 新出の房中書『秘事養生伝』について・・・・・・・・・・永塚憲治
- 12 佐藤陶崖の往診用薬箱と天保二年配剤録について・・・・・・・・鈴木達彦
- 13 中国元代の医療と茶・・・・・・・・・・・・・・・・・・岩間真知子

11:00～12:15 一般演題 14～18 座長：瀧澤利行

- 14 台湾の医療史－病院、医学校を主軸に－・・・・・・・・・・福永 肇
- 15 優生学的モダニティの移植と転位－1895–1945年の植民地台湾における
日本優生思想の展開－・・・・・・・・・・・・・・・・・・曲 虹霖
- 16 「瘡」「疽」字の用法について・・・・・・・・・・・・・・・・浦山きか
- 17 1907年における韓国のコレラ流行と植民地防疫体制の形成・・・・・・・・李 檉源
- 18 緒方洪庵と適塾展(昭和55年)福岡会場での身分を記した史料の展示不可
について・・・・・・・・・・・・・・・・・・中山茂春

15:15～16:15 一般演題 35～38 座長：柳澤波香

- 35 ルネ・デカルトの医学論考と解剖学：観察と想像力の対峙・・・・・・・・竹田 扇
- 36 イスラーム世界におけるガレノス『解剖の手法について』の影響について・・矢口直英
- 37 パリ王立植物園における解剖学教育の興り・・・・・・・・・・土屋江里子
- 38 我が国初の病理解剖は脚気患者であった－病理学的側面からみた、
その報告の概説・・・・・・・・・・・・・・・・・・井村穰二

16:15～17:00 一般演題 39～41 座長：逢見憲一

- 39 京城帝国大学開設期における医学部解剖学教室日誌・・・・・・・・真木奈美
- 40 解剖用語「海馬」の由来と記憶機能との密接な関係性の発見について・・佐藤 裕
- 41 橘南谿の『解体運刀法』について・・・・・・・・・・・・・・・・関屋成彰

N 第 3 会場 N 棟 302 教室

10:00～11:00 一般演題 19～22

座長：山下麻衣

- 19 19 世紀後半における埼玉県松伏領大川戸村の種痘と「医風の改良」・・・浅井皓平
- 20 上腕神経叢伝達麻酔法の日本への流入：圧迫法から経皮的アプローチへの
道のり・・・ジュンパーカー
- 21 澤瀉久敬『医学概論』と健康思想・・・山口静子
- 22 雑誌『日本及日本人 大正 9 年春季増刊 100 年後の日本』に見る医療者
の未来観・・・渡部幹夫

11:00～12:15 一般演題 23～27

座長：平尾真智子

- 23 従来開業医の教育機関、医学講習所について・・・木下浩・松村紀明
- 24 浅田宗伯没後百三十周年に考える浅田宗伯先生彰徳碑について-撰文者、
佐藤恒二を中心に-・・・渡辺浩二
- 25 熊谷医院の地域医療への貢献と継承 ～熊谷常次郎氏から恒朗氏・常康氏への
医療の精神～・・・ハーディング優子・矢野正子
- 26 松葉杖の起源を求めて・・・佐藤弘一郎
- 27 東郷平八郎元帥使用の総義歯を調査するー現存する二組の比較と作者及び
当時の技術の考察・・・保坂義雄・大野肅英・永藤欣久

15:15～16:15 一般演題 42～45

座長：海原 亮

- 42 中国小児推拿と日本小児はりとの関わりについて・・・李 強
- 43 東アジアにおける『銅人腧穴鍼灸図経』の出版と普及
一宋から明、朝鮮・日本一・・・丸山裕美子・猪俣 貴幸・井上充幸・辻 正博
- 44 宮本流経穴学に連なる藤井貞三の経歴について・・・加畑聡子
- 45 曲直瀬道三脈書にみる四脈脈證について・・・中川俊之

16:15～17:00 一般演題 46～48

座長：永塚憲治

- 46 味岡三伯は腹診を伝授していないー草刈三越の仮託を信じてしまった名医たちー
・・・長野 仁
- 47 東京府衛生掛と巣鴨病院の緊張関係ー高根達の動向に着目して・・・藤本篤二郎
- 48 処罰と医療のあいだー1950～60 年代の日本における「麻薬禍」と精神医療ー
・・・橋本 明

体験展示；メディカルアロマテラピー S 棟 125 教室 12:00～15:00

蒸留 12:00～13:30、14:00～15:00 野尻佳代子（Aroma オフィシナリス-88 主宰）

18:30～20:30 会員懇親会 「菊水楼」 事前予約のみ

第2日 2025年11月30日(日)

8:30～ 受付 N棟1階ピロティ

S会場 S棟235教室 (ダイダンホール)

10:00～10:45 教育講演1 司会：宝月理恵

「ジェンダー視点から読み解く医学史資料」・・・廣川和花(専修大学教授)

10:45～11:30 教育講演2 司会：宝月理恵

「医療とジェンダード・イノベーション—身体とセクシュアリティ」

・・・三成美保(追手門学院大学教授)

12:30～15:50 シンポジウムⅡ 「日本近代の女性医療従事者たち」 司会：廣川和花

「近現代日本における公衆衛生に従事した看護職に関する歴史

—海外留学経験者の活動と貢献—」・・・山下麻衣(同志社大学教授)

「近代日本における女子歯科教育と女性歯科医師」永藤欣久(東洋学園大学東洋学園史料室室長)

「戦前日本における女性医師の海外での活動・・・藤本大士(ハイデルベルク大学助教)

韓国からの話題提供「韓国近現代における女性医学史の動向」・・・朴 智瑩

(全北大学校副教授)

中国からの話題提供「中国における近代女性医師研究の動向」・・・侯 海英

(上海師範大学特任准教授)

15:50～16:00 閉会行事 次期会長挨拶(松田隆秀)/閉会挨拶 司会：向 静静

N第1会場 N棟202教室

9:00～10:00 一般演題 49～52 座長：永藤欣久

49 近代日本における女子医学専門教育—誕生と発展、そしてその衰退—・・・目黒 茜

50 済生学舎卒医師のドイツ留学と地域社会への貢献

—特に女性医師を中心に—・・・志村俊郎・弦間昭彦

51 東京医科歯科大学の開祖と東洋女子歯科医学専門学校・・・川島真人

52 妖怪伝承におけるヨモギとジェンダー：身体の境界をめぐる民間叙事・・・姜 姍

10:00～11:00 一般演題 53～56 座長：稲田健一

53 「娘」「妻」「母」として—莊淑旂にみる女性医療者の

モラル・ボイスの構築・・・李 若塵フェリス

54 難治性蕁麻疹の心身医学的アプローチの歴史

—成人女性に焦点を当てる—・・・貞岡美伸

- 55 占領期日本における公衆衛生と結核対策におけるジェンダー的視点・・・佐藤晶子
 56 第二次世界大戦前「壮丁体位」低下論の統計的考察
 ー陸軍省統計年報等を用いた実証の試みー・・・逢見憲一

11:00～11:45 一般演題 57～59 座長：阿部奈緒美

- 57 近代東アジアにおける養老・延寿関連医書の統計と分析・・・陳 麒方
 58 第二次世界大戦前夜における日独医事協定締結と医学関係者の交流・・・岩間希奈
 59 『相良知安関係文書』出版について・・・相良隆弘

N 第 2 会場 N棟 3 0 1 教室

9:00～10:00 一般演題 60～63 座長：岩間真知子

- 60 杏雨書屋所蔵の日記類・・・町泉寿郎
 61 ミゼリコルディアに支えられた豊後府内及び長崎のホスピタル・・・相川忠臣
 62 飯田市立図書館所蔵『岐山先生醫案』と河田岐山について・・・松木宣嘉
 63 杏雨書屋蔵『船中投剤録』について ー咸臨丸の文久元年小笠原諸島派遣に
 おける投薬記録ー・・・吉川澄美

10:00～11:00 一般演題 64～67 座長：木下 浩

- 64 京都北部の医家である太田家（太田典禮生家）史料の目録・・・
 ・・・・島山奈緒子・猪飼祥夫・池内早紀子・高橋正子・三鬼丈知
 65 江戸後期の医科高階家～高階枳園(たかしなきえん)、棟園 (とうえん)、
 柑園 (そうえん)について・・・土手健太郎・牧野洋
 66 順天堂における近代黎明期の医学教育と医療・・・坂井建雄
 67 大和国吉野郡小路村代官梅本家の診療記録・・・海原 亮

11:00～11:45 一般演題 68～70 座長：浦山きか

- 68 日本四大眼科の一つ、筑前国田原家の江戸での診療
 ー「天保3年眼目療治帳」よりー・・・上園慶子
 69 "林羅山と医学ー近世初期における医学知識の収集・編集・普及をめぐるー"・・・伊 丹
 70 薬学者はなぜ「漢方」を支持したのか ー薬学と漢方の関わりー・・・山形 悠

N 第 3 会場 N棟 3 0 2 教室

9:00～10:00 一般演題 71～74 座長：松村紀明

- 71 医学学習指南書から医療倫理へ：ジョン・グレゴリーの
 『医師の義務と職務に関する所見』の歴史的的位置づけ・・・澤井 直

- 72 信念の脳神経外科医ヴィクター・ホーズリー・・・・・・・・・・柳澤 波香
 73 17世紀パリの学術コミュニティにおけるニコラウス・ステノの
 活動とその評価・・・・・・・・・・安西なつめ
 74 楠本正康が見たアメリカの衛生教育
 ―1950年の視察レポートに着目して―・・・・・・・・田中誠二・丸井英二

10:00～11:00 一般演題 75～78 座長：平崎真右

- 75 軍医ミュルレルと薬剤師ニーウェルト・・・・・・・・・・小清水敏昌
 76 ペニシリンの発見と開発の経緯：学術記事と報道記事の紹介・・・・・・・・木村 丹
 77 ゲーテと医療（第7報）・・・・・・・・・・鈴木重統
 78 Constantin von Economo（1876-1931）と第一次世界大戦・・・・・・・・伊藤泰広

11:00～11:45 一般演題 79～81 座長：澤井 直

- 79 ギスラン博士博物館展示品・・・・・・・・・・杉田克生
 80 永井久一郎：内務省衛生局統計課初代課長の足跡・・・・・・・・丸井英二
 81 初代司薬局長永松東海の事績・・・・・・・・・・青木歳幸

体験展示；メディカルアロマテラピー S棟125教室 11:00～13:00
 蒸留 11:30～13:00 野尻佳代子（Aroma オフィシナリス-88 主宰）

誌上発表

- 1 明末清初の筆談記録が語る日中本草学の交流 ―明人張斐の来舶に着目して―・・顧嘉晨
 2 「愛知県公立病院及び医学校第一報告」から見る後藤新平の病院マネジメント・山内一信
 3 2023年NHK朝ドラ『らんまん』の牧野富太郎と本草学（終）・・・・・・・・吉村美香
 4 研医会図書館所蔵『外科之書』について・・・・・・・・・・安部郁子
 5 荻野吟子の最期の日々と周辺の人々・・・・・・・・・・小島光洋
 6 群馬県における明治期の女性医師について・・・・・・・・・・須長泰一
 7 医術開業試験と女子受験生・・・・・・・・・・三崎裕子
 8 前田令太郎の足跡―明治時代のドイツ留学生―（続報）・・・・・・・・高際麻奈未
 9 「通仙散」の呼称は華岡鶯修が父青洲の慰霊鎮魂のために提唱した・・・・・・・・松木明知
 10 いつ小山内建（元洋）は東校から軍医寮に出仕したのか？
 ―明治初期に活動した津軽出身陸軍軍医の生涯―・・・・・・・・佐々木俊徳
 11 西鶴作品にみる身体に関する語（十）・・・・・・・・・・計良吉則
 12 宋版『方氏家蔵集要方』（重要文化財）の書誌・・・・・・・・小曾戸洋
 13 『玉海』にみえる医経の引用について・・・・・・・・・・橋本典子

- 14 秦伯未『内経病機十九条之研究』について・・・・・・・・・・木場由衣登
15 唐以前医方攷—『僧深方』と飛鳥・西橘遺跡出土木簡をめぐって・・・・・・・・多田伊織

参加者へのご案内

1. 参加受付

日時：11月29日（土）8：30～17：00

11月30日（日）8：30～16：00

場所：奈良女子大学 N棟1階ピロティ

2. 参加費など

★当日は現金受付のみとなります。事前参加申し込みは日本医史学会HPから行ってください。②③は事前に申し込みいただいた方に限ります。

①学会の参加費：一般 5,000 円（学生会員 3,000 円）

会員外一般 6,000 円（会員外学生 4,000 円）

②会員懇親会：10,000 円

③お弁当代：1,100 円

3. 会員懇親会（事前申し込みの方のみ）

日時：11月29日（土）18:30～20：30

会場：菊水楼 <https://www.kikusuiro.com/>

〒630-8301 奈良市高畑町1130

懇親会后、帰りはバスを用意しますのでご利用ください。

（ルート；菊水楼→近鉄奈良駅→JR奈良駅）

4. 昼食会場 N201 教室及びS棟1階ラウンジ

午後からのシンポジウムにはお弁当の持ち込み可能です。

5. 書籍販売

N棟1階2階3階ピロティにて書籍販売を行います。

6. その他

キャンパス内の鹿は野生です。生態系保全のため鹿にえさやり、触るのはご遠慮ください。

座長・発表者へのご案内

1. 座長の方へ

- ① 担当セッション開始時刻の 15 分前までに会場内前方の次座長席にご着席ください。
- ② 時間延長は学会全体の進行に影響しますので時間厳守にて進行をお願いいたします。

2. 演者の方へ

- ① 一般演題の口演時間は 11 分、質疑応答 3 分です。
- ② 口演開始 10 分で 1 鈴を鳴らします。14 分の 2 鈴で質疑応答を含めて終了となります。時間厳守をお願いいたします。
- ③ 演者は、口演の開始・終了など座長の指示に従ってください。
- ④ 演者は自演題の 2 題前には会場に入り、次演者は次演者席で待機してください。
- ⑤ 当日配布資料がある場合には 100 部程度ご用意願います。
口演終了後、残部は各自の責任で回収してください。

3. 発表データについて

- ① 発表データの受付は当日のみとなります。演題発表時間によって受付時間が異なりますのでご注意ください。
29 日午前演題発表者受付 8:30～9:15 午後演題発表者受付 12:20～13:00
30 日午前演題発表者受付 8:00～8:40
各受付時間に報告会場の PC に入れていただきますようお願いいたします。
- ② 発表データは PowerPoint で作成してください。
- ③ 作成したデータは USB フラッシュメモリでご持参ください。事前にウィルスチェックを必ず済ませてください。
- ④ 文字化け等不安な方は PDF 変換したファイルも併せてご用意ください。
- ⑤ PC 本体の持ち込みによる発表はできません。